

環境経営レポート

(エコアクション21)

取組期間 2023年1月～2023年12月



発行 2024年3月25日

後藤設備工業株式会社



認証番号0009756

-目次-

項 目	ページ
1 ■環境経営方針	3
2 ■取組の対象組織・活動・対象範囲	4
3 ■実施体制図	5
4 ■環境経営目標	6
5 ■環境経営計画	7
6 ■環境経営目標実績結果・評価	8～10
7 ■環境経営計画取組結果の評価	11～12
8 ■次年度環境経営目標並びに環境経営計画	13～14
9 ■環境関連法規等の遵守状況及び、違反・訴訟等の有無	15
10 ■代表者による全体の評価と見直し・指示	15

1.環境経営方針

【企業理念】

私たちは、お客様に喜ばれ、感動していただく会社を理想の姿とし、そのために、お客様へ誠実な対応と技術力・安全重視の姿勢でより高い信頼と評価を頂けるように活動しています。

【環境経営方針】

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や環境保全への対応が人類共通の重要課題との認識にたち責任感を強く持って、全ての事業活動を通して環境負荷の低減を図るために、これまでの豊富な実績と優れた技術を活かして、社員みんなで明るく、自主的・積極的・個性的に環境保全活動に取り組み、広く地域社会に貢献してまいります。

1 具体的に、次のことに取り組んでいきます。

- ① 二酸化炭素の削減
- ② 工事の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進
- ③ 水資源の節水
- ④ 環境に配慮した施工の推進

2 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守致します。

3 社員一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境経営方針を全従業員に周知すると共に、環境経営レポート等で社外へも公表いたします。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し、継続的改善活動に取り組みます。

制定日:2011年10月7日

改訂日:2021年 5月26日

代表取締役社長 後藤 真一郎

2. 取組の対象組織・活動・対象範囲

□組織の概要

(1) 名称及び代表者

後藤設備工業株式会社

代表取締役社長 後藤 真一郎

(2) 所在地

本社 高松市香西東町645-1

松山支店 松山市土居町802-1

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者

連絡担当者 営業部課長

TEL087-881-3116

管理部長

TEL087-881-3116

(4) 事業内容

管工事業・電気工事業・消防施設工事業

【許可番号】 国土交通大臣（特、般-1）第2892号

(5) 事業の規模

完成工事高 約38億円

/2023年

	従業員	建物面積	倉庫面積
本社	55	763m ²	294m ²
松山支店	20	356.8m ²	75.9m ²

(6) 事業年度

1月～12月

□認証・登録の対象範囲

全組織・全活動

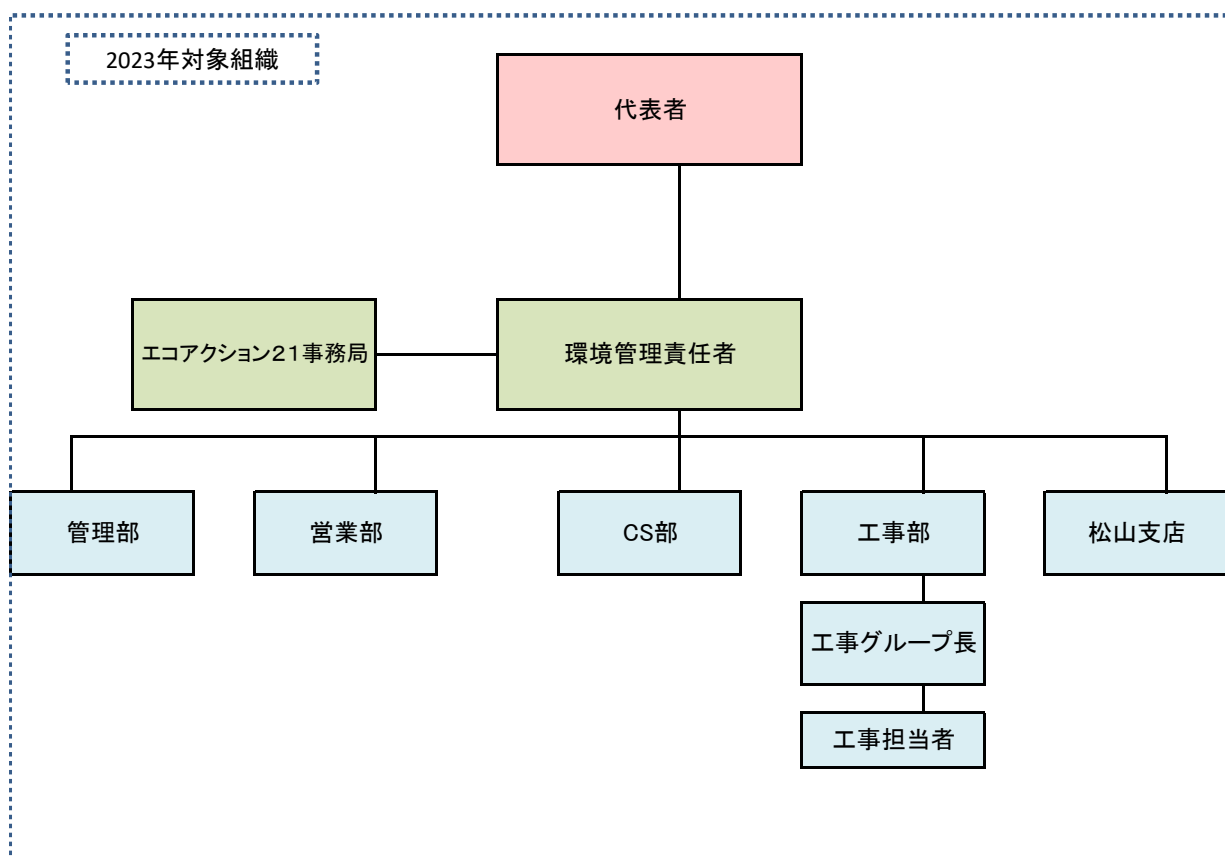


(本社)



(松山支店)

3. 実施体制図



		役割・責任・権限
代表取締役		・環境経営に関する統括責任
		・環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間を準備
		・環境管理責任者を任命
		・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知
		・全従業員に対する教育・訓練の実施
		・環境経営目標、環境経営計画書を承認
		・代表者による全体の評価と見直しを実施
		・環境経営レポートを確認し、承認
		・緊急事態への対応マニュアル承認
		・環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者・EA21事務局		・環境経営システムの構築、実施、管理
		・環境関連法規等取りまとめ表の作成
		・環境経営目標、環境経営計画書を作成
		・環境経営計画の取り組み結果を代表者に報告
		・環境経営レポートの作成
		・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	管理部	・環境管理責任者の補佐
		・環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施
		・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
		・環境経営の実績集計
	営業部	・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
		・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
	CS部	・自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成
		・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
工事部	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施	
全従業員		・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
		・決められたことを守り、自主的、積極的に環境経営へ参加

4. 環境経営目標

【中・長期目標】

(全社)

目的	単位	目 標			
		基準年 (2021年)	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素排出量の削減 *1	kg-CO ₂	239,157	236,765	234,374	231,982
電気使用量削減	kWh	82,344	81,521	80,697	79,874
ガソリン使用量削減	L	82,473	81,649	80,824	79,999
軽油使用量削減	L	5,417	5,363	5,308	5,254
一般廃棄物排出量の削減	kg	2,535	2,510	2,484	2,459
産業廃棄物排出量の削減	t	51.0	50.5	50.0	49.5
水使用量の削減	m ³	309	306	303	300
環境に配慮した清掃活動により人材育成を図る *2	%	100	100	100	100

(本社)

目的	単位	目 標			
		基準年 (2021年)	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素排出量の削減 *1	kg-CO ₂	184,039	182,198	180,358	178,518
電気使用量削減	kWh	67,231	66,559	65,886	65,214
ガソリン使用量削減	L	61,393	60,779	60,165	59,551
軽油使用量削減	L	5,417	5,363	5,308	5,254
一般廃棄物排出量の削減	kg	2,095	2,074	2,053	2,032
産業廃棄物排出量の削減	t	43.7	43.3	42.8	42.4
水使用量の削減	m ³	149	148	146	145
環境に配慮した清掃活動により人材育成を図る *2	%	100	100	100	100

(松山支店)

目的	単位	目 標			
		基準年 (2021)	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素排出量の削減 *1	kg-CO ₂	55,118	54,567	54,016	53,464
電気使用量削減	kWh	15,113	14,962	14,811	14,660
ガソリン使用量削減	L	21,080	20,870	20,659	20,448
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	436	431	427
産業廃棄物排出量の削減	t	7.3	7.2	7.1	7.1
水使用量の削減	m ³	160	158	157	155
環境に配慮した清掃活動により人材育成を図る *2	%	100	100	100	100

*1. 電力のCO₂発生量については、

四国電力の調整後排出係数0.411 (kg-CO₂/kWh) を使用した。(環境省公表2021年)

*2. 組織本来の取り組みは、環境に配慮した清掃活動により人材育成を図ることに変更

○今年度は、2023年度目標に取り組む

5. 環境経営計画

○2023年度 取組期間:2023年1月1日～2023年12月31日

(全社)		実施責任者	具体的実施項目
組織本来の取組	環境に配慮した清掃活動により人材育成を図る	環境管理責任者	①毎朝15分間の清掃 ②月1回の掃除活動(半日)

(本社)

		実施責任者	具体的実施項目
二酸化炭素	電気使用量の削減	環境管理責任者	①不要時の消灯励行 ②空調のフィルター清掃/年2回 エアコンの設定温度の適正化 ③オフィスのグリーン化の継続
	ガソリン・軽油使用量の削減	環境管理責任者	①各車両のメンテナンス・清掃の継続 ②現場への直行直帰、テレワークの推進
廃棄物	一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量の削減	環境管理責任者	①備品の在庫管理を継続 ②電光掲示板やクラウド利用の継続 ③ゴミの分別徹底継続
水使用量	節水	環境管理責任者	①まとめ洗い、水やりの井水利用徹底継続 ②月1回の漏水確認継続 ③洗車時のバケツ利用の徹底

(松山支店)

		実施責任者	具体的実施項目
二酸化炭素	電気使用量の削減	環境管理担当者	①不要時の消灯励行継続 ②空調のフィルター清掃/年2回 エアコンの設定温度の適正化 ③内勤者以外へのNO残業デーの定着 ④事務所内グリーン化の推進
	ガソリン使用量の削減	環境管理担当者	①各車両のメンテナンス・清掃 ②現場への直行直帰、テレワークの推進 ③電気自動車の購入、アイドリングストップの促進
廃棄物	一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量の削減	環境管理担当者	①段ボール、雑誌のリサイクル継続 ②電光掲示板やクラウド利用の継続 ③クラウド活用によるペーパーレス化
水使用量	節水	環境管理担当者	①まとめ洗い ②月1回の漏水確認を継続 ③洗車時のバケツ利用の継続 (自社での洗車を推進)

6. 環境経営目標実績結果・評価

EA-12-1

○2023年度 取組期間:2023年1月1日～2023年12月31日

(全社)

目的	単位	基準年 (2021年)	目標 (2023年)	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量の削減 *1	kg-CO ₂	239,157	234,374	239,648	97.8%	×
電気使用量削減	kWh	82,344	80,697	100,749	80.1%	×
ガソリン使用量削減	L	82,473	80,824	81,144	99.6%	×
軽油使用量削減	L	5,417	5,308	3,871	137.1%	○
一般廃棄物排出量の削減	kg	2,535	2,484	4,275	58.1%	×
産業廃棄物排出量の削減	t	51.0	50.0	62.01	80.6%	×
水使用量の削減	m ³	309	303	344	88.0%	×
環境に配慮した清掃の実施*2	%	100	100	100	100%	○

○:達成 ×:未達

*1. 電力のCO₂発生量については、
四国電力の調整後排出係数0.411 (kg-CO₂/kWh) を使用した。(環境省公表2021年)

*2. 組織本来の取り組みは、環境に配慮した清掃活動により人材育成を図ることに変更

○コメント

二酸化炭素の削減	CO ₂ 排出量は目標未達となった。特に電気使用量は目標の80.1%と大きく未達となった。詳しく見ていくと、高松・松山ともに夏場の電気使用量が特に多く、温暖化の影響が顕著に表れている。現場から戻った工事事部や外回りをしてきた営業部の健康に気を付けながら、内勤の社員だけの時間は設定温度を上げるなどして調整をしていきたい。
一般廃棄物、 産業廃棄物排出量の削減	一般廃棄物は目標の58.1%で大きく未達となった。高松では3月の廃棄が多く、竣工が重なったことと年度代わりのための廃棄書類が多かった。松山では目標を達成している。産業廃棄物に関しても目標は未達で、現場から持ち帰った廃棄物が多く、現場の作業内容によって左右される項目だと考え、事務所からの廃棄を削減できるよう再度社員の意識付けを徹底していきたい。
水使用量の削減	高松、松山ともに目標未達となった。特に高松ではほぼ毎月水の使用量が増えており、毎日2回の屋上菜園への散水が主な原因である。設備的に井水の利用が出来ないため、手洗いや水廻りの使用時に節水を心がけるよう周知する。
環境に配慮した清掃の実施	毎朝15分の清掃活動を実施している。 また毎月第3土曜日の午前中に複数の班に分かれて清掃活動を実施。 洗車やエアコンフィルターの清掃、会社周辺の清掃を行い、環境に配慮した活動を行うとともに人材育成を図っている

EA-12-1

6. 環境経営目標実績結果・評価

EA-12-1

○2023年度 取組期間:2023年1月1日～2023年12月31日

(本社)

目的	単位	基準年 (2021年)	目標 (2023年)	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量の削減 *1	kg-CO ₂	184,039	180,358	183,185	98.5%	×
電気使用量削減	kWh	67,231	65,886	66,066	99.7%	×
ガソリン使用量削減	L	61,393	60,165	62,951	95.6%	×
軽油使用量削減	L	5,417	5,308	3,871	137.1%	○
一般廃棄物排出量の削減	kg	2,095	2,053	3,565	57.6%	×
産業廃棄物排出量の削減	t	43.7	42.8	50.05	85.6%	×
水使用量の削減	m ³	149	146	248	58.9%	×
環境に配慮した清掃の実施*2	%	100	100	100	100%	○

○:達成 ×:未達

*1. 電力のCO₂発生量については、
四国電力の調整後排出係数0.411 (kg-CO₂/kWh) を使用した。(環境省公表2021年)

○コメント

二酸化炭素の削減	CO ₂ 排出量は目標未達となった。ガソリン使用量は現場への距離と社員数に応じて変動するので、変わらず削減の意識を持って取り組みたい。軽油については使用者が少なかったこともあり目標を達成できた。電気使用量については熱中症対策等もありなかなか設定温度通りにはいかないこともあるが、引き続き節電に努めていく。
一般廃棄物、 産業廃棄物排出量の削減	一般廃棄物は3月が多く、竣工が重なったことと、年度の変わり目で保管期限を過ぎた書類の廃棄が原因である。特に紙の廃棄が多いので、各部署でさらにペーパーレス化できる資料はないか、ムダな印刷をしていないか、またカタログ等、重複して取得しているものはないか確認をしていきたい。
水使用量の削減	水使用量は目標未達となったが屋上菜園での散水が主な原因となった。毎日2回の散水を設定しておりここは節水が難しいため、漏水調査や日々の節水で目標に近づけたい。
環境に配慮した清掃の実施	毎朝15分の清掃活動を実施している。 毎月の清掃活動では、洗車や空調機のフィルター清掃のほかに会社周辺の草抜きなどを実施し、地域貢献も行っている。

EA-12-1

6. 環境経営目標実績結果・評価

EA-12-1

○2023年度 取組期間:2023年1月1日～2023年12月31日

(松山支店)

目的	単位	基準年 (2021年)	目標 (2023年)	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量の削減 *	kg-CO ₂	55,118	54,016	56,463	95.7%	×
電気使用量削減	kWh	15,113	14,811	34,683	42.7%	×
ガソリン使用量削減	L	21,080	20,659	18,193	113.6%	○
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	431	710	60.7%	×
産業廃棄物排出量の削減	t	7.3	7.1	12.0	59.7%	×
水使用量の削減	m ³	160	157	96	163.3%	○
環境に配慮した清掃の実施*2	%	100	100	100	100%	○

○:達成 ×:未達

*1. 電力のCO₂発生量については、
四国電力の調整後排出係数0.411 (kg-CO₂/kWh) を使用した。(環境省公表2021年)

○コメント

二酸化炭素の削減	CO2排出量の削減は95.7%と未達であった。電気使用量は目標の42.7%であったが、基準が旧社屋のため、次年度は新社屋の実績を基準とし、排出係数の修正を行った上で評価をする。 今回の結果の詳細としては、特に1月～3月の使用量が多くなっていた。調査の結果、新社屋になり屋上に設置している太陽光発電の稼働が遅れたことによるものと判明。4月以降は正常に稼働しているため、引き続き日々の管理を徹底していきたい。
一般廃棄物、 産業廃棄物排出量の削減	一般廃棄物は目標の60.7%、産業廃棄物は目標の59.7%と目標未達となった。内訳としては9月の廃棄が多く調査の結果、複数の大型現場が竣工したことによる廃棄と判明した。来期も大型現場の竣工により廃棄が増加すると思われるので、日々の管理を徹底していきたい。
水使用量の削減	順調に目標を達成できている。取り組みを継続したい。
環境に配慮した清掃の実施	毎朝20分の清掃活動を実施している。 毎月の清掃活動では、洗車や空調機のフィルター清掃など複数の班に分かれて活動をしている。 今後は本社のように会社周辺清掃を実施し、地域貢献も計画に入れていきたい。

※2022年11月に新社屋が竣工したため、次年度からは2023年1月～12月までを基準年とした
目標設定の見直しが必要となる。

EA-12-1

7. 環境経営計画取組結果の評価(本社)

EA-5-2

EA-12-2

○2023年度 取組期間:2023年1月1日～2023年12月31日

		具体的実施項目	実施責任者	1月～4月	5月～8月	9月～12月	総評
二酸化炭素	電気使用量の削減	①不要時の消灯励行	環境管理責任者	○	○	○	○
		②空調のフィルター清掃/年2回 エアコンの設定温度の適正化		○	-	○	○
		③オフィスのグリーン化の継続		○	○	○	○
	ガソリン・軽油使用量の削減	①各車両のメンテナンス・清掃の継続		○	○	○	○
		②現場への直行直帰、テレワークの推進		○	○	○	○
廃棄物	一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量の削減	①備品の在庫管理を継続		○	○	○	○
		②電光掲示板やクラウド利用の継続		○	○	○	○
		③ゴミの分別徹底継続		△	○	○	○
水使用量	節水	①まとめ洗い、水やりの井水利用徹底継続		○	○	○	○
		②月1回の漏水確認継続		○	○	○	○
		③洗車時のバケツ利用の徹底		○	○	○	○
組織本来の取組	環境に配慮した清掃活動により人材育成を図る	①毎朝15分間の清掃		○	○	○	○
		②月1回の掃除活動(半日)		○	○	○	○

○:計画通り実施 △:一部出来なかった ×:出来ていない

環境活動の取組結果の評価と次年度の取組み内容

目的	評価に対するコメント	次年度の取組
二酸化炭素	①は昼休憩時と定時以降、退社エリアの消灯を実施している。 ②の空調のフィルター清掃は「そうじの力PJ」で実施した。エアコンの設定温度は基本的に夏は27℃、冬は20℃とするが事務所内の気温に合わせ適宜調整。 ③屋内外の観葉植物、野菜の世話を継続中。挿し木をして観葉植物を増やしている。	①②③を継続して実施する。
	①は朝の掃除の時間や空いた時間、毎月第3土曜の「そうじの力PJ」にて実施中。車の不調等はなく順調に進んでいる。松山支店の社員との打ち合わせや社外との打ち合わせにもzoomを積極的に利用中。 ②現場への直行直帰は定着している。テレワークは業務に支障のない範囲で拡大中。主に内勤の管理部で実施中。工事もでも事務処理の際に実施している。	①②を継続して実施する。
廃棄物	一般廃棄物・産業廃棄物削減にて、①②は出来ている。 ③は可燃物、不燃物、段ボール、ペットボトル・ペットボトルキャップ、ラベル、空き缶を分別中。	①②③を継続して実施する。 上記に追加して、請求書や見積書など社外書類の電子化を進める
水使用量	①は屋外の水やりについては井水利用をしている。井水利用を励行中。②③は出来ている。	①②③を継続して実施する。
組織本来の取組	毎朝15分の清掃活動を実施している。 また毎月第3土曜日の午前中に複数の班に分かれて清掃活動を実施。 洗車やエアコンフィルターの清掃、会社周辺の清掃を行い、環境に配慮した活動を行うとともに人材育成を図っている	継続して実施する。

7. 環境経営計画取組結果の評価(松山支店)

EA-5-2
EA-12-2

○2023年度 取組期間:2023年1月1日～2023年12月31日

		具体的実施項目	実施責任者	1月～4月	5月～8月	9月～12月	総評
二酸化炭素	電気使用量の削減	①不要時の消灯励行継続	環境管理責任者	○	○	○	○
		②空調のフィルター清掃/年2回 エアコンの設定温度の適正化		○	○	○	○
		③内勤者以外へのNO残業デーの定着		△	○	○	○
		④事務所内グリーン化の推進		○	○	○	○
	ガソリン使用量の削減	①各車両のメンテナンス・清掃		○	○	○	○
		②現場への直行直帰、テレワークの推進		△	△	△	△
廃棄物	一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量の削減	①段ボール、雑誌のリサイクル継続		○	○	○	○
		②電光掲示板やクラウド利用の継続		○	○	○	○
		③クラウド活用によるペーパーレス化		○	○	○	○
水使用量	節水	①まとめ洗い		○	○	○	○
		②月1回の漏水確認を継続		○	○	○	○
		③洗車時のバケツ利用の継続(自社での洗車を推進)		△	○	○	○
組織本来の取組	環境に配慮した清掃活動により人材育成を図る	①毎朝15分間の清掃		○	○	○	○
		②月1回の掃除活動(半日)		○	○	○	○

○:計画通り実施 △:一部出来なかった ×:出来ていない

環境活動の取組結果の評価と次年度の取組み内容

目的	評価に対するコメント	次年度の取組
二酸化炭素	①は呼びかけや掲示等で消灯依頼し、昼休憩時の消灯と不要箇所の消灯を実施。 ②は「そうじの力PJ」で計画通り実施出来ているので継続する。エアコンの設定温度は基本的に夏は27℃、冬は20℃とするが事務所内の気温に合わせ適宜調整。 ③は本来しているはずの追い出し当番が1月は不在であったが、1月以降は追い出し当番により定時の一斉退社が実施できた ④出来ている。引き続き意識していきたい。	①②③④を継続して実施する。
	①はサービスカーの定期メンテナンスを実施している。 ②現場への直行直帰は定着してる。コロナ感染時や台風など災害時はテレワークを実施している。内勤者への推進や、業務に支障のない範囲で継続したい。	①②は継続して実施する。
廃棄物	一般廃棄物・産業廃棄物削減にて、①②は出来ている。 ③業者さんへの通達はラインワークスを利用している。支店内でのアンケート等はクラウドを利用しペーパーレスに取り組んでいる。	継続実施を行う。 複数の資料でクラウド活用の継続実施を促進する。 また上記に追加して、請求書や見積書など社外書類の電子化を進める
水使用量	①まとめ洗いは出来ている。 ②出来ている。 ③自社にてバケツを利用し洗車を実施中であるが、3月にバケツを使わずホースにて洗車。注意済。	①②③を継続して実施する。

8. 環境経営目標

【中・長期目標】

(全社)

目的	単位	目 標			
		基準年 (2023年)	2024年	2025年	2026年
二酸化炭素排出量の削減 *1	kg-CO ₂	243,678	241,241	238,805	236,368
電気使用量削減	kWh	100,749	99,742	98,734	97,727
ガソリン使用量削減	L	81,144	80,332	79,521	78,709
軽油使用量削減	L	3,871	3,832	3,793	3,755
一般廃棄物排出量の削減	kg	4,275	4,232	4,190	4,147
産業廃棄物排出量の削減	t	62.1	61.4	60.8	60.2
水使用量の削減	m ³	344	341	337	334
空調改修工事における省エネの提案	%	100	100	100	100

(本社)

目的	単位	目 標			
		基準年 (2023年)	2024年	2025年	2026年
二酸化炭素排出量の削減 *1	kg-CO ₂	185,828	183,970	182,111	180,253
電気使用量削減	kWh	66,066	65,405	64,745	64,084
ガソリン使用量削減	L	62,951	62,321	61,692	61,062
軽油使用量削減	L	3,871	3,832	3,793	3,755
一般廃棄物排出量の削減	kg	3,565	3,529	3,494	3,458
産業廃棄物排出量の削減	t	50.1	49.6	49.1	48.6
水使用量の削減	m ³	248	246	243	241
空調改修工事における省エネの提案	%	100	100	100	100

(松山支店)

目的	単位	目 標			
		基準年 (2023年)	2024年	2025年	2026年
二酸化炭素排出量の削減 *1	kg-CO ₂	57,850	57,272	56,693	56,115
電気使用量削減	kWh	34,683	34,336	33,989	33,643
ガソリン使用量削減	L	18,193	18,011	17,829	17,647
一般廃棄物排出量の削減	kg	710	703	696	689
産業廃棄物排出量の削減	t	12.0	11.8	11.7	11.6
水使用量の削減	m ³	96	95	94	93
空調改修工事における省エネの提案	%	100	100	100	100

*1. 電力のCO₂発生量については、

四国電力の調整後排出係数0.451 (kg-CO₂/kWh) を使用した。(環境省公表2023年)

*2. 組織本来の取り組みは、空調改修工事における省エネの提案に変更

*3. 松山支店新築に合わせて全社の目標を見直し。2023年を基準年とする。

8. 次年度環境経営計画

○2024年度 取組期間:2024年1月1日～2024年12月31日

(全社)		実施責任者	具体的実施項目
組織本来の取組	空調改修工事における省エネの提案	環境管理責任者	①空調改修工事の計画段階で、補助金を使った省エネ施工の提案を行う

(本社)		実施責任者	具体的実施項目
二酸化炭素	電気使用量の削減	環境管理責任者	①不要時の消灯励行 ②空調のフィルター清掃/年2回 エアコンの設定温度の適正化 ③オフィスのグリーン化の継続
	ガソリン・軽油使用量の削減	環境管理責任者	①各車両のメンテナンス・清掃の継続 ②現場への直行直帰、テレワークの推進
廃棄物	一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量の削減	環境管理責任者	①備品の在庫管理を継続 ②電光掲示板やクラウド利用の継続 ③ゴミの分別徹底継続 ④請求書や見積書など社外書類の電子化を進める
水使用量	節水	環境管理責任者	①まとめ洗い、水やりの井水利用徹底継続 ②月1回の漏水確認継続 ③洗車時のバケツ利用の徹底

(松山支店)		実施責任者	具体的実施項目
二酸化炭素	電気使用量の削減	環境管理担当者	①不要時の消灯励行継続 ②空調のフィルター清掃/年2回 エアコンの設定温度の適正化 ③内勤者以外へのNO残業デーの定着 ④事務所内グリーン化の推進
	ガソリン使用量の削減	環境管理担当者	①各車両のメンテナンス・清掃 ②現場への直行直帰、テレワークの推進 ③電気自動車の購入、アイドリングストップの促進
廃棄物	一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量の削減	環境管理担当者	①段ボール、雑誌のリサイクル継続 ②電光掲示板やクラウド利用の継続 ③クラウド活用によるペーパーレス化 ④請求書や見積書など社外書類の電子化を進める
水使用量	節水	環境管理担当者	①まとめ洗い ②月1回の漏水確認を継続 ③洗車時のバケツ利用の徹底

※2022年11月に松山支店の新社屋が竣工したため、全社で2023年を基準年とした目標設定の見直しを行い、活動していく。

※2023年4月に新事業所「みずらば高松サンフラワー通り店」を開店したため、2024年中はデータ把握を行い、2025年より活動を開始する

9. 環境関連法規等の遵守状況及び、違反・訴訟等の有無

環境法規制等	規制内容	遵守状況
廃棄物処理法	委託業者との契約、マニフェストの管理、産業廃棄物の保管等	遵守
騒音規制法	指定地域の確認、届出等	遵守
振動規制法	指定地域の確認、届出等	遵守
建設リサイクル法	発注者への計画等説明、再資源化の結果報告書等	遵守
家電リサイクル法	取引業者への委託	遵守
建築基準法	ホルムアルデヒドに関する規制 換気設備の義務付	遵守
フロン排出抑制法	フロン破壊業者への引き渡し、取引業者への依頼、回収量等 知事へ報告等	遵守
グリーン購入法	環境に配慮した事務用品の調達	遵守
浄化槽法	浄化槽法11条検査の実施	遵守
香川県環境基本条例	事業活動全般	遵守
高松市環境基本条例	事業活動全般	遵守
愛媛県環境基本条例	事業活動全般	遵守
松山市環境基本条例	事業活動全般	遵守

当社に適用される環境関連法規等の違反はありませんでした。

また、利害関係者からの訴訟及び、関係行政機関からの指摘も過去3年間ありませんでした。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2023年、全社で見ると目標未達の項目が多くなった。CO2の削減は目標から大きくかけ離れることはなかったが、一般廃棄物と水の使用量については大きく未達となった。

水の使用については本社の屋上菜園への散水が要因と考えるが、廃棄物に関しては社員の意識で改善が見込めると考えている。主に本社の一般廃棄物が結果に影響しており、目標を達成するには年間約1tの削減が必要になる。現場の書類削減に並行して請求書の電子化やデータ化を進めており、結果に反映されるよう長い目で見ていきたい。熱中症対策訓練や組織本来の取り組みである人財育成については目標、計画通りに実施することができた。

2024年からは時代の流れに鑑み、週休2日制を採用する。また5年後10年後を見据え、計画的に社員の増員を進めている。会社の将来を考える一方で、環境に配慮した取り組みの浸透と、結果が課題になる。社員教育を充実させ、現場の技術面だけではなく環境に配慮した教育や、会社・社会のルールをテーマとした教育も引き続き実施していきたい。

環境経営方針、環境経営目標及び計画に見直しはなく継続実施とする。

ただし来期より松山支店の目標数値については、新社屋竣工後の2023年を基準とする。実施体制については事務局員のほか営業部にも担当者を置き、現場における省エネ製品や補助金の提案を行い、営業活動にもつなげている。

本社・松山支店ともに目標未達の項目はあるが、今後も積極的に参加することを最優先に、全員参加で取り組みを続けていきたい。

令和6年3月25日

代表取締役社長 後藤 真一郎